

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市沼垂西3丁目
電話 (243) 0141
21年10月31日

消費税減税・インボイス廃止・充実した感染症対策を実現しよう

10月31日は衆院選投票日です

本日、投票日を迎える衆議院選挙は中小業者の未来をかけた選挙となります。

中小業者は自粛など感染症禍の影響で苦境に立たされているにもかかわらず、少ない補償しか受け取れない状況が続いています。これ政府の責任は果たされているのでしょうか？

またこのような状況の中、

全国で170万事業所が影響を受けると言われている

「インボイス制度」も登録

申請の受付を開始。202

3年には実施する計画です。

中小業者が苦しんでいる時に追い打ちをかけるのではなく、インボイスは中止して消費税を減税・納付の免除をすることが求められているのではないのでしょうか？

この衆院選挙で増税政権を退場させるためにも野党共闘を前進させましょう！

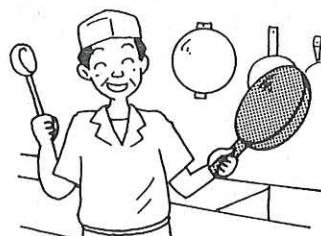
政権交代で真に国民と中小業者を大切に政治を実現しましょう



国の月次支援金制度 10月分まで延長されました

国の月次支援金が10月分まで延長されることとなりました。詳細は10/22現在で発表されていませんが、基本的な枠組みは変わらないと思われま

す。時短協力金が9/19分までが対象ですので、月次支援金の10月分は時短協力金が支給された人でも申請ができます。大いに活用して商売を守る力にしましょう！



月次支援金9月分は
11月30日締切です

日程

- ・大腸がん検診容器回収日 11月 5日
- ・拡大統一行動旬間 11月 1日～14日
- ・全商連70周年記念式典 11月14日

全商連70周年・総選挙に向けて訪問行動 役員への訴えに共感広がる「女池支部」

23・24日の両日、島田支部長と和合婦人部長を先頭に訪問行動。会員や元会員らとの交流がされました。

コロナ禍の影響による営業状況の悪化や、インボイス制度の不安などが話題の中心。衆院総選挙の話題では、政治と金の問題や公文書の隠蔽・改ざんなどに怒りの声が続出。これまでの政治を総括する選挙にしなければならぬと共感が広がり、3名の方が商工新聞を購読し婦人部にも1名が入部しました。

役員2人の「消費税非課税業者排除に繋がるインボイス制度は、売上1千万円以下を非課税とする条件は実質的に撤廃。インボイス制度を阻止しなければ、簡易課税制度の廃止も必至」という訴えも共感され、この衆議院総選挙の重要性がさらに実感されます。広く周りにも声を掛け、訴えていこうと意識を高めていました。



全商連記念式典目標に向けて訪問行動 商工新聞読者6名が増「石山支部」

石山支部では10月24日に訪問行動が行われ、役員5名が参加して3組に分かれて行動しました。

全商連70周年記念式典に向け、仲間増やしへの協力を呼び掛けるため会員や元会員・元読者を中心に訪問。同時に大腸がん検診の受診や衆議院選挙の声掛けも行いました。

対話では「4ヶ月間、全く仕事が無い時期があったが、今は市外・県外と仕事がある」などの営業が好転しているとの声もあれば、「時短中より時短明けの方が客は来ない」と変わらず苦しい状況に置かれている方も。

訪問では留守も多くなかなか対話が少ない中でしたが、商工新聞の読者を2名拡大。また伊藤隆元副会長が業者仲間へ声をかけ読者を3名拡大し、山本哲雄常任理事も1名の読者を拡大しました。



「選挙でインボイスを廃止させよう」 消費税インボイス制度学習会―松浜支部―

10月21日、松浜支部で消費税・インボイス学習会が開催され7名が参加しました。

インボイス制度の概要から始め、計算の仕組み、制度が進むことにより想定される事などについて学習しました。

参加者からは「インボイスを発行しないで取引を続ける事は違法になるのか?」「免税業者で消費税を乗せた額で請求してもいいのか?」など元請との取引を心配する質問や「外注費が非課税の扱いにされたら大変」「外注にインボイスの発行、もしくは値引きを迫ることは難しい」「外注に辞められると困るので、社員にしようかと考える企業もあると聞いたが、それでは社会保険が多額になり支払えなくなる」など外注への対応に苦慮する声が多く上がりました。

約2年間の経過措置があるので登録申請は急がない事と、税率が単一になればインボイス制度は廃止になる事を学習し、今回の選挙の重要性が実感されました。

「こんな制度はやめたほうがいい」 消費税インボイス制度学習会―山ノ下支部―

10月22日に山ノ下支部で「消費税インボイス学習会」をまちづくりセンターにて開催しました。

全商連が作成した消費税インボイスのカラーのパンフレットを見ながら、インボイス制度がどんな制度なのかを学びました。

一通り説明がされた後、ある参加者は「取引先にこの制度のことを聞いてみたが『まだ登録はしていない』という業者がほとんどだった。実施直前まで様子を見てみるようだ」と話していました。

また別の参加者からはインボイス(適格請求書)の例を見て「事務処理が大変そう。さらに税金の負担が増えるなんてこんな制度はやめたほうがいい」と怒りをあらわにしていました。

この10月から登録申請が始まりましたが、実施まであと2年。学習会の開催や署名を持ってまわりに知らせたいこととなりました。



待望されていた夜の部を初開催 夜の部も定例化へ―亀田支部記帳会―

亀田支部ではこの一年間、記帳会を定例開催してきました。しかし「昼の部では参加できない。夜の部も開催して欲しい」との声が出されたため、10月22日に夜の記帳会をえんではよこしにて開催しました。

当日は初参加も含めて3名が参加。まずは白色申告と青色申告の違いやパソコン会計をするメリットなどを学び合いました。

続けてえんではよこしに新たに導入された70インチのテレビにパソコンをつないで、実際の弥生会計の画面をみながら操作の説明。支部婦人部長の山本美幸さんが会計ソフトの利便性を丁寧に話しました。

今回の参加者は白色申告の人が中心。初めて参加した井越さん(設備工事)は「今まではパソコンの表計算ソフトで集計していた。今回参加して会計ソフトがこんなに便利だとは思っても見なかった。早速ソフトを購入してすすめる」と話していました。

最後に次回の開催を11月19日に決めて閉会となりました。



経営対策部・青年部共催 ビジネススキルアップセミナー

SNS学習会

日時：11月5日(金) 10:30~12:00
会費：1,000円 ※学習会後にランチ会を行ないます。
定員：10名

事業計画書作成会

日時：11月22日(月) 19:00~20:30
会費：無料
※会場はいずれも「えんではよこし」です。
(江南区横越川根町3丁目1-48)